

POTT in 天草地域医療センター 研修報告

日時:2018年11月10(土)13時30分~16時30分

参加者:15名 看護師13名 言語聴覚士2名

講義・指導:迫田綾子(日本赤十字広島看護大学)

田平佳苗(熊本医療センター) 橋元美和・長嶋由美(天草医療センター)



天草五橋



世界遺産
「崎津集落」

研修の様子



体験学習では、安楽さや苦痛がわかりました。



職員の手作り
車イス用テーブル

今回の研修内容は
いかがでしたか？

回収13名

- 参考になった
- 少し参考になった
- 参考にならなかった
- その他

満足度
100%

研修後のスキル点もアップ！
今後も研修や伝承を継続します。



【今後の取り組み】

当日朝から6時間の道のりをおいでになったとは思えない、パワーあふれる迫田先生！天草に蒔いてくださったPOTTの種を、今回受講した仲間と一緒に咲かせられるよう頑張ります。(橋元美和)

研修終了時には、全員の表情が澆刺!!!
やる気満開！天草パワーをいただきました。
(迫田)



参加者は師長、主任などコアとナース。院内にPOTTを伝承すると、みんなで誓いました。やる気！元気！笑顔！看護部長は、看護は皆が同じレベルで技術を提供してこそ意味があると、看護の方向性を示されました。研修会に参加して元気が出たそうです！

【参加者のアンケート・感想】回収13名

○ポジショニング参加経験初回13名、○ポジショニングや食事介助；困難感あり:13名

- ・正しいポジショニングを行い、安楽な姿勢で食べる体験は非常に参考になった。
- ・ポジショニングの意味や方法、食事介助時の注意点を学べた。他の看護師への伝承の必要性を感じた。・実際に体験して違いが実感でき、注意することがよく理解できた。
- ・すぐに実践に活かそう。患者さんはとてもつらい体位で食事をしていたのだと、今までのケアを反省した。・自己流となっていたので根拠を持って(今後)実践できる。
- ・安楽な体位は安全につながると学んだ。・正しい姿勢で食べる重要性を早く伝えたい。
- ・病院だけでなく、介護施設、在宅看護、介護の方にも発信してほしい。

課題:どう病棟に広めて当たり前にしていくか。その他多数のコメントが寄せられました。